

第 12 号
40周年特集

かたつむり21

5月現在会員数

個人：66人

法人：2団体

2006年5月14日 発行

題字：杉野 雅子

VIVA ! SG 40th Jamboree !!

SG40周年記念事業実行委員長 原口和博



平成18年4月16日、午前11時。舞洲の空をおおっていた雲が、糸を引くかのように晴れ渡り、葦(すみれ)中学校の生徒さん38名によるエネルギッシュな演奏とともにSG40周年記念ジャンボリーが開幕しました。

10日間もの長雨にみんなの気力は萎えかけていました。運命にはあらがえない。でもみんなの願いはきっと通じるときがある！。SGリーダーや、キャンパーとその家族の方々の思いが天に通じたと感じた瞬間でした。

真っ青な青空の下に、341名もの仲間が集い、緑と海に囲まれた会場で、食べて・飲んで・見て・聴いて・ふれあい、語り合った日のことは永く忘れることはないでしょう。

明石海峡大橋のむこうに真っ赤な太陽が沈む頃、ファイヤーの火を囲んでの大団円。昔日を思い出しながら、笑い転げ、はしゃぎ回りました。

参加したそれぞれが、積み重ねたキャリアや得意分野に力を発揮しての手作りのジャンボリーでしたが、想像を超えた感動や喜びがあふれた催しでした。

役割分担ごとの動きが全体のチームワークに結実し、「ホンバンに強いSG」を実感させられ、『みなさんのからだが繋がっている！』という幸島先生の評価を実感しました。また、『誰かのためとかじゃなくて障害児・者と共に自分が楽しんでしまう人達がこんなにいる』との善野先生のことに「そうなんだ」と共感してしまいました。

今回の催しは、当初の目論見通り、見事な成果を残せたと思います。でも、もっと早くから晴れていたらもっとたくさんの人が参加してくれたかも知れない。

もっとたくさんの人に連絡をとっていたら。もっと…もっと……と反省点も尽きません。でも、それはこれからの宿題にしておきましょう。

今回の催しは、楽しいだけでは作れない。思いだけでは実現しない難しさがありました。しかし、心のきずなが大きなエネルギーをもたらすことは他と同じ。また、参加した方々



の生き様を通じ、愛や執念、使命感や思いやりといったことを強烈に感じさせられた機会でもありました。

40周年の節目が過ぎました。でも私たちサービスグループがやらなければならないことは山積しています。子供たちのニーズも減ることはありません。

現場で活動する学生さんや若い仲間にもっとたくさん参加してほしい、サービスグループの輪を更に広げる必要があります。



私たちは、これからも、それぞれの立場で活動に参加し、ハンディキャップを持つこともたちと共に歩み続けたいと思います。皆さま 大変お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。



新しい事務所を探しています

かたつむり21会長 黒川 芳朝

「SG 40th Anniversary Jamboree」は大成功の内に終えることができました。ご協力頂いた葦中学校吹奏楽部、ドッグセラピー・グループ「シャインフット」、人形劇団「なんじゃもんじゃ」をはじめご支援下さった方々に心から御礼申し上げます。また、実行委員会の皆さんの献身的な努力に敬意を表します。

ところで、こうした熱気に水を差すようで恐縮ですが、事務所を置かせて頂いている旧大阪婦人ホームの建物が近く取り壊され、保育園として生まれ変わる計画が進んでいます。元々、立て替えまでという条件でお借りしていただきましたので、早急に立ち退く必要があります。目下、役員会を中心に新事務所(賃貸マンション等)を探しております。交通至便、安価な家賃の手頃な物件について、是非皆さま方の情報をお寄せ下さい。

SG後援会「かたつむり21」

531-0072 大阪市北区豊崎3丁目11番1号

旧大阪婦人ホーム 内

会長：黒川 芳朝 事務局長：松木 彰造

電話・FAX：072-661-4625 (松木)

Mail：akbkj500@tcn.zaq.ne.jp (松木)

【特集】 SG創立40周年アニバーサリー・ジャンボリーに参加して

心に残る思い出をありがとう



大阪市立董中学校吹奏楽部顧問
吉田 政彦

40周年おめでとうございます。記念すべき式典に参加できたことを、大変光栄に喜んでおります。遠方からたくさんの人々が集まって来られている場所で、音楽を通して心のふれあいができ、貴重な経験ができたと思っています。こ

のような機会を与えていただき、感謝いたしております。

演奏はいかがでしたでしょうか？キャンプの歌集より、事前に伺っていた曲目を演奏しました。上手く演奏できるか不安でしたが、楽しんでいただけたのではと自負しています。（演奏に合わせて手拍子をしていただいたり、口ずさんでくださったり…。）

また当日は楽器の運搬など、ボランティアの方々にも大変お世話になりました。その上、昼食・抽選会にも参加させていただき、楽しい一日を過ごすことができました。素晴らしいロケーションの舞洲ロッジで、心に残る思い出を作ることができました。ありがとうございます。最後になりましたが、貴会の益々のご発展と皆様のご多幸をお祈りいたします。

一期一会

川上(上原) 一恵(かたつむり21)



「うわ～久しぶり！」「元気にしてた？」どの顔もなつかしきでいっぱい。昔の面影はそのままに、ちょっぴり(?)年齢を重ねた、いい顔がたくさんありました。

当日の天気予報は雨…のはずが、うれしい裏切り「快晴」の中、ジャンボリーは始まりました。ブラスバンド、人形劇などの楽しい催しと素敵な料理(本物シェフによる本格料理！)。フィナーレのファイアーは、まだ春先の寒さが身にしみる中、松木さん扮する火の神様の登場で始まりました。年代別の出し物では、少し息切れ気味の年代もありましたが、連綿と連なってきたファイアー独特の雰囲気を楽しみ、あっという間に時間が過ぎていきました。

わずか数人の大学生が始めた活動は40年を超え、そこに関わった人たちは数千人。もっとたくさんの方が集まることができれば良かったのですが、連絡の取れない方もたくさんおられるそうです。お世話いただいた実行委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。そしてありがとう！「同じ楽しい時間を過ごした」ということ、悲しい事も嬉しい事もひっくるめて…。

みんなと出会えたことが嬉しいです。一期一会。これからもどうかお元気で。そして数年後に、また笑って元気に再会できることを楽しみにしています。

俺もおじんになったんやなあ…



田中 次郎(元キャンパー)

4月16日は危ぶまれていた天候もうそのように晴れ渡り、舞洲のキャンプ場にはサービスクループの創立40周年を記念して、懐かしい顔や現役の若者が集いました。個人的には呼びかけた本人達があまりにも集えていなかったのがとても残念でした。

それでも、子連れで来ていた昔の仲間もおり、時間の流れを感じ「俺もおじんになったんやなあ」と痛感しました。

最後にキャンプファイヤーがあった様ですが、翌日の体調を考えると参加することができませんでした。今度いつあるのかはわかりませんが、また皆で大騒ぎしたいと思います。

今度は70年代や80年代という様に区切ってやってみてはどうですか？余計に参加する人数が少なくなりそうですが、できる事があれば協力したいと思います。

脈々と流れ続けるSG魂を実感

平井 英蔵(SGメンバー)



今回参加して、SGの40年という長い年月にわたる活動が続いてきた所以を実感することができました。

準備期間が非常に余裕の無いものであったにも拘わらず、ドリル隊のオープニングに始まり、ドッグショーや人形劇、そして食事など、どれも参加者を感動させるものばかりでした。

このプログラムの一つひとつは、かたつむりやSGのメンバーの固有財産である「人との繋がり」がなければ実現しないものばかりでした。

また、SGの大きな魅力の一つでもある「何が何でも、何とかする」という心意気が全体の流れから感じることができました。準備段階では勿論、当日も参加者の様子や希望から、改善の必要や変更の必要があるとその場にいるメンバーで、その場にある材料などを活用し、何とかしてしまおう。このような底力も無くては成らないものです。

このSGに関わる人々の想いがSGそのものであり、世代を超えてこれからも脈々と流れ続けるSG魂であると心のそこから実感できました。これまでに数え切れないほどの人々がSGに関わり、数え切れない経験と思い出を創ってこられたことと思います。

今後もこの魅力あるSGが50周年、60周年と続くことを心から願い、私自身もその歴史を身をもって体験していきたいと思っています。

【特集】 SG創立40周年アニバーサリー・ジャンボリーに参加して

本当の“ふれあい”の時間でした



「シャインフット」代表 岡部 千鶴

SG40周年、アニバーサリー・ジャンボリーのプログラムの一つとして、早い段階で出演のご依頼を受けました。私たちは現在主に特養老人ホーム、幼稚園、未就学児発達支援施設でドッグセラピー活動をしています。お引き受けしたものの、対象年齢の幅が広く（主に成人）、さてさてどんな内容にしよう……と考えること毎日でした。

「私も出たい！」と手を挙げた多数のメンバーをセレクトして当日に臨みましたが、いざ本番前、「出たい〜！」と言ってた面々の顔が、緊張で引きつっているのです。「上手にできなくてもいいよ、失敗もご愛嬌、ご愛嬌！」と、犬ではなく人間の緊張をほぐす始末。

プログラムは予定通り40分で終了しましたが、その後もその場に残って車椅子の方たちが、「一緒に写真とらせて〜」「膝の上にのせて〜」「一緒に散歩させて〜」と、私たちが本当の意味で願っている『ふれあい』の充実した時間を持てたことが何より嬉しいことでした。

そしてその時間の中で自分の夢を熱く語られる方もおられ、逆に感動を頂きました。本当に貴重な体験をさせてくださいました皆さまに、感謝の気持ちです。

機会がありましたらまた呼んでください。芸を磨いてお待ちしております！

私が生まれる20年も前の写真、印象的。



阿部 真子 (SGメンバー)

慌ただしさの中で始まり、嵐のよう過ぎ去った40周年記念アニバーサリーでしたが、準備段階、当日と、みなさんお疲れさまでした！！

今回のアニバーサリーに参加して、印象深かったのは、私が生まれる約20年近くも前から今に至るたくさんの

写真と、当日に参加された年代を超えたキャンパーの方達です。現役のメンバーから、自分の親の歳くらいの元キャンパーの方までいて、リーダーの人たちとの久しぶりの再会を喜んで、懐かしい話に花を咲かせたりしている皆さんの笑顔が本当に嬉しそうで、見ていて心が和みました。

当日は良すぎるくらいの天気で、(普段の行いがいいから。。笑) 菫中学のプラスバンド、料理、たくさんの出し物、どれも記憶にはっきりと残っています。毎年2泊3日のキャンプをたった一日で終わらせたかのような一日でしたが、委員会の時や遠足とかではなかなか会う事のできない多くの人達にあうことができ本当に楽しかったです。ありがとうございました。

食べる物が無くなってすみません



衣川 将治(元SG、ジャンボリー総料理長)

お疲れ様でした。それからリーダーの皆さん、いろいろ助けて頂いてありがとうございました。食べる物が無くなってしまって大変ご迷惑をお掛けしました。

久々のSGでの活動に、いい緊張感とプレッシャーがあったんですが、始まったとたん頭の中が真っ白になってしまって…。こんな大役頂いて、反省点ばかりで申し訳ないんですが、少し甘く考えていたようです。

こんな事書いた後に言うのも変ですが、またSGで活動の場があれば、やってみたいなーと思いました。そして、次の45周年も是非お声をお掛け下さい。次は完璧にやっつけてみます(笑)。どうもありがとうございました。

超久し振りのことで… 馬崎 稔(かたつむり21)



30数年振りのSG行事の参加でした。毎回いろいろな行事の案内を頂いていたのですが、仕事関係や大学時代のクラブOB会等結構忙しくしている関係で、これまで全く参加することがありませんでした。

JR舞洲駅で集合した時には、どこかに面影のある方が何人かおられて一安心。名前をお聞きすると30数年前のお顔が思い出されました。また皆さんには馬崎さん貫禄がでましたねと言われてしまった(太ったということ、老けたということ…?)。

とにかく超久し振りのことで、何をどうしていいのかわからず、介助に手間取りご迷惑をお掛けしました。スタッフ及び参加者の若い方からご年配の方まで、本当に皆さんが楽しく過ごされた一日であったと思いますし、私もプログラムの一つひとつが結構楽しく、昔を思い出すことができました。

特にファイヤーでの、松木さん演ずる火の神様には頭が下がる思い(私には絶対できない)で観させて頂きました。今回は正直、同窓会気分に参加させて頂きました。ありがとうございました。

楽しかったでえ 亀井 樹(みき)(キャンパー)



ええと…みんなといろんな事をして楽しかったでえ。あと人形劇も見れたし、キャンプファイヤーもちょっと寒かったけど楽しめた(*^o^*)。ジャンボリーの感想って、これくらいでええかのお…(^w^)



温まったのは 銘酒「秋鹿」のせい…？

善野八千子(かたつむり21・奈良文化女子短期大学 教授)

私の記憶力を試すためか、今頃になってオータムキャンプの感想を書くようにと依頼を受けました。確か、あれは 昨年(2005年)の11月12日～13日。早半年位前のことでした。いえいえ忘れもしません。能勢の秋は短く、冬の訪れは早い。オータムキャンプはぐっと冷え込んだオーサムキャンプでした。

それでも温まったのは潤の「秋鹿」のせいだけではなく、皆様との触れ合いがあったから。能勢ダイヘンキャンプから帰ってまもなく友達に当てて出したメールが残っています。

「なんて人達がいるんだろ！誰かのためとかじゃなくて障害児・者と共に自分が楽しんでしまう人達がこんなにいる。澄切った夜空の星とお月様はこんな人達に見てもらうために輝いてるんだって思った。キャンプファイヤーの炎に照らされて十代の頃に来た能勢のキャンプの再現のように『ひょっこりひょうたん島』を踊った。やや息切れを感じるのが確かに年月を経た証。私は『いわしの開きが潮吹いてホッ！ズズチャチャ〜♪』をご披露した。これ以上笑えないほど笑い転げて一日の終わりを迎えた。かと思っただが、そうではなかった。その後から40周年行事に向けた真剣な会議が始まったのである。喧喧譁譁！アイデアがアイデアを生み、企画力と構築力、チームワークってこういうことなのだと感じさせられた深夜のミーティングは続いた。カニと松茸の炭火焼の香ばしさ、一晩寝かせたタップリカレーのマイルドさ、おいしい食事はおいしい笑顔の仲間がつくるんだ。こんなにいい時間をこれから子どもに関わる仕事をする学生たちにも一杯味わわせてあげたい。」

今年こそは、若者パワーを(本物の)引きこめるよう頑張ります！



第6回通常総会のお知らせ

かたつむり21事務局長 松木 彰造

2006年度の総会を開催致します。通例であれば、5月に開催しておりますが、本年は「SG創立40周年記念ジャンボリー」を実施したため、一ヶ月遅れの開催となります。

- ・と き：平成18年6月11日(日)午後2時30分～
- ・と ころ：大阪市中央青年センター会議室
(大阪市中央区法円坂1-1-35 電話06-6943-5021)
- ・特別講演：善野 八千子先生
(本会会員・奈良文化女子短期大学教授)
- ・懇親会(午後5時30分～)：居心伝/道頓堀店
(大阪市中央区道頓堀1-6-15 電話06-6212-1801)

詳細は別紙の案内をご覧ください。

会費納入と会員拡大のお願い

かたつむり21事務局次長 伊東 久実子

本会は、会員の皆さまの会費によって運営しています。会員であることのメリットは何もありませんが、SG活動を今後とも安定的に継続して行くためには、皆さん方のご協力が必要です。

新年度の会費(半期：6,000円、法人：年間30,000円)の納入をお願いします。また、過年度分が未納になっている方は併せてよろしくお願い致します。詳細は、各個人宛の書面をご覧ください。

また、新事務所には現在以上の経費が必要となりますので、一人でも多くの会員確保に向けてご協力下さい。

SGの最近の活動報告・予定 中間 秀行(SG)

- ・2005年11月20日(日)ジュニア秋の遠足 (USJ)
 - ・2005年12月11日(日)ジュニアクリスマス会：光陽養護学校光友会館。ゲームやケーキ作り等を行った。
 - ・2006年3月26日(日)キャンプアフターケア：中津事務所。もちつき。
 - ・2006年6月、SG総会、ジュニア遠足
 - ・7月、キャンプミーティング、トレーニングキャンプ
 - ・8月、サマーキャンプ(2泊3日)
- キャンプ場は、「びわ湖青少年の家」を押さえておりますがまだ未定です。特に、今年一番の課題は、年々減少しているキャンパーを集めることです。

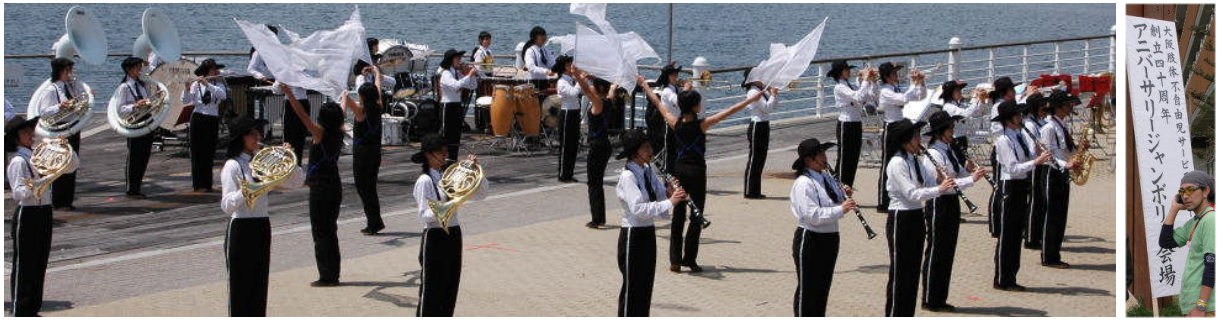
衣類提供のお礼とお願い

大阪婦人ホームでは、女性用、子供用の衣類を必要としています。村瀬さん、岡村さん、繁岡さん、松井さん、そしてご協力下さったご友人、職場の方々にもお礼申し上げます。引き続きご協力よろしくお願い致します。

(連絡先：杉野雅子 072-792-2448)

編集後記

直前の天気予報は、雨。しかし、ジャンボリーは晴れた。総数341名の方の参加を得て、懐かしい友との語り合い。おいしい料理をグループで和気藹々と。ファイヤーでは40年の歌とゲームで一体になって盛り上がったかな。一步一步と歩んだ40年。これからも障害児とともに一步一步、歩みましょう。(石谷)



大阪市立葦中学校吹奏楽部によるオープニング



心配された天候にも恵まれ晴天になりました



人形劇団「なんじゃもんじゃ」



思い出の写真展も人気を集めました





「シャインフット」の皆さんによるドッグショー

衣川シェフの料理には長蛇の列ができました



メインイベントは「ファイアー」 SGパワーは健在でした



撤収完了は午後10時過ぎ

